



興譲館野球部OB総会 平成29年8月15日 於ホテルモントビュー米沢

興譲館野球部OB会

会報

第27号

■発行日／平成29年12月10日(日)
 ■発行者／小野隆夫
 ■発行所／〒992-0054
 米沢市城西4-4-16
 井上恭男
 ☎ 0238(22)4078
 ■印刷／株式会社羽陽印刷
 ☎ 0238(23)0467

会報27号に寄せて



小野 隆夫

興譲館野球部OB会会長

今年も全国的に地球温暖化の影響による想定外の降雨量等での自然灾害の多い年でありました。がOB会員の皆様には恙なくお過ごしのことと拝察いたしました。

当、米沢市に置きましてはこれという被害がありませんでした。が、全国各地で被害を受けられた方々には心からお見舞い申し上げます。

さて、本年も我が野球部OB会会報第27号の発刊の時期となりました。

今年も残念ながら計報をお知

らせしなければなりません。平成3年から21年まで長期にわたりて本会の理事、事務局長兼副会長等を務められました昭和31年卒の村山晃氏が7月にご逝去されました。長い間当会の運営に誠心誠意ご尽力いただきました。

ご冥福を心からお祈り申し上げたいと思います。

総会につきましては本年度もお盆の開催ということで8月15日(火)約30名の参加者で開催いたしました。事務局提案の事業計画、決算、予算、役員改選等のご承認をいただきました。

役員改選につきましては、昭和29年卒の副会長、高野譲氏が顧問にして新しく平成17年卒の小野裕介氏が理事として会の運営に協力していただくことになりました。

それ以外の役員については会長以下全て留任ということで再任していただきました。総会への参加者が出来るだけ多くなる

ようにと8月の帰省時にしてから5年目になりますが思つよいにはいかないようです。時世柄やむを得ないと考えるべきなのでしょうか?

我が興譲館は7名だそうです。2~3校での連合チーム等も大会に参加できるようになつているようです。我が母校の野球部が選手不足で不参加なんて言うことがないように祈りたいものです。

最後になりますが会員の皆様には年会費納入等いろいろな面でのご協力よろしくお願ひ申し上げます。

今年も総会の日の午前中は、現役1、2年生とOBとの試合そして午後はOB(現役3年を含む)同士の試合が行われました。私も遠藤副会長と共に午後

の開会行事から参加してまいりましたが昨年同様大学生を中心にお加者の多いのに驚きました。

若い方が中心の事業かもしれないが、昨年と同じく世代を超えたOB会の交流としておおいに意義のあることと感じOB会の事業として定着させてまいりたいと思っています。

今年の夏の選手権大会は1回戦鶴岡高専に勝ち、2回戦で鶴岡工業と対戦し敗れましたが見ごたえのある試合であったと思います。秋の新人戦では地区代表として県大会に出場いたしましたが1回戦敗退でした。

少子高齢化の影響かもしれま

せんが、今年の置賜地区で硬式野

球部のある13校のうち新入生が9名以上入部した学校は3校だと聞きました。私立2校と公立は1校

だそうです。生徒数の減少に輪をかけて野球をしたいという生徒がかなり減少しているということでしょうか?

我が興譲館は7名だそうです。2~3校での連合チーム等も大会に参加できるようになつているようです。我が母校の野球部が選手不足で不参加なんて言うことがないように祈りたいものです。

興譲館野球部OBの皆様には、常日頃より本校野球部へ物心両面にわたりご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今年5月、興譲館高校の野球に係わるこんな一場面がありました。関西支部同窓会に出席した時のことです。大阪城を眼下にみる高層ビルの会場に、約30名の卒業生が集まりました。そこで、昭和29年卒の大先輩・遠藤昌雄さんが「白球を追って3年間」という演題でご講演がありました。その話は、同期でプロ野球界にて活躍した皆川睦雄さんと共に野球の練習に明け暮れたこと、3年連続で県代表となり、甲子園出場を賭け福島・宮城・山形による東北大会に臨むがもう一歩及ばなかつたことや小指を骨折しながら大会に臨んだ皆川選手のことなど、エピソードを交えながら生き生きと当時の話をされたのがとても印象的でした。さらに、奇しくも平成14年に卒業した野球部OBの後輩との出会いに、一緒に興譲館野球の「昔と今」を話す姿には、後輩を思いやる師弟愛を感じました。大先輩・皆川選手のファブレーの精神や「一球入魂」「不忘恩」「自捨不惜身」等の精神は、興譲館のグランドで培われたものであり、時空を超えて今に受け継がれる興譲館野球部の精神を垣間見たような気がしました。そして最後に、大先輩からは私が生きていい

る内に、母校興譲館が甲子園に来てほしいと言う熱いメッセージを頂き講演が終りました。

さて、近年の高校野球は、スポ少から野球を始めた選手が殆どで、多くは私学を中心に全国を目指すという勢力図になつていることは否めません。また一方では、野球人口の減少が顕在化する中、本県の高校野球部員数も2016年を境に2000名を割り、県立高校を中心には、部員数不足が深刻な問題となつています。現に今年の置賜地区の1年生大会には、本校と米商との合同チームで出場せざるを得ませんでした。(単独チームは長井・米工・九里・米沢中央のみ) 今このような現状にありますが、現在生徒は限られた時間を工夫しながら日々地道な練習を重ね、文武両道に頑張っています。生徒には、野球部創設以来これまで先輩が築き上げてきた素晴らしい伝統を受け継ぎ、人格や人間力を磨き世のために人のために逞しく活躍する人物に育つてほしいと願っています。

結びに、皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、OB会の益々のご隆盛と皆様のご健勝をご祈念申し上げご挨拶とします。



ご挨拶

校長 横戸 隆



追憶雑記・ 野球とともに

(昭和39年度卒)

江川 栄助

半の懐かしい思い出です。

古希を過ぎましたが、まだ野球をやっています。

高校3年の夏の大会は2回戦で負け、3年間の野球生活は終わりました。試合後、涙が出ました。宿舎に帰る道、俯く我々は監督に

「胸を張って歩きなさい」と言されました。試合に負けた悔しさよりも、もうこれからは野球の練習をしなくてもいいのだ、終わつた

んだ、その時間は自由に使えるのだという安堵感の方が強かつたのだと思いま

す。1年生の時はボールを数個与えられ、修繕をさせられました。夏の大会が終

りました。その頃、少年の健

全な育成を目的にしていた

のだと想いますが、「防犯少

年野球大会」というのがあ

りました。この大会に出た

のが、遊びでない野球の試

合に出た初めての経験でした。

た。中学校でも野球部に入

りました。高校を卒業し、野球とも

縁が切れるだろうと思つて

いました。教員になろうと

山形大学に入学しました。

りと、今では考えられない環境でした。昭和30年代後

半の懐かしい思い出です。

70歳を過ぎても野球と繋

がっていますが、関わり初めは昭和30年半ば、小学生の頃、田圃や空き地でゴムボールを打つて遊んでいた頃からです。当時は子供も

多く、常に4、5人で遊んでいました。バットもグローブもありません。棒をバット代わりにして打ち、素手で、ボールを扱っていました。その頃、少年の健

全な育成を目的にしていた

のだと想いますが、「防犯少

年野球大会」というのがあ

りました。この大会に出た

のが、遊びでない野球の試

合に出た初めての経験でした。

た。中学校でも野球部に入

りました。高校を卒業し、野球とも

縁が切れるだろうと思つて

いました。教員になろうと

山形大学に入学しました。

夏の3試合

『あこがれの甲子園』
『ああ、我が高校野球』

近況ですが、現在もそしてこれからも野球から離れられそうにありません。学

童野球にかかわり21年となりました。学童で野球の基本を指導した子供達が、今年も興讓館のユニフォームを着て精悍な姿になり高校野球をしています。巣立つた子供達を見るにつけ心温まります。恵まれた環境の中で大きな志を持つて「文武両道」、二度と戻らない青春の一時期を悔いの無い様に精一杯打ち込んでほしいと思います。

最後に、今後とも米沢興讓館野球部OB会に籍をとき、母校野球部の更なる前進を祈念致します。



時間半の熱戦に幕を下ろしました。しかしその後、日大山形に5対3で敗れ甲子園出場の目標はかなわなかつた。



【バント】

(昭和61年卒)

佐藤 竜也

時間が出来た。ようやく3時間半の熱戦に幕を下ろしました。しかしその後、日大山形に5対3で敗れ甲子園出場の目標はかなわなかつた。

確率の高い選択肢になるハズです。結果が出てからは「ああすればよかつたのに」「こうすればよかつたのに」と、なんでも言えますが、肝心なのは「こと」にあたる

「バントでサヨナラのランナーを得点圏に進める」というのはよく聞くと思われます。文章では当たり前のようにならにヒートアップしたのは間違いない。そして忘れられない9回裏の場面を迎えた。先頭打者がなんど、いきなり死球(万歳して墨に出る)でサヨナラのランナーを墨に出すこと

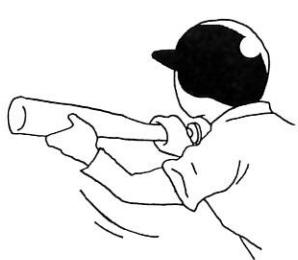
が出来た。しかも足が速い選手だったことも幸運。むかえるバッターは3番打者。チームで最も打撃面においては(守備は?)信頼できる、打つ確率の高いやうな、そんな感じだった。今想えばその米沢中央と興讓館の試合は、技術の勝負というより気力のぶつかり合いの様相を呈していた。

1回裏に興讓館が1点先制したものの、2回には両校が5点ずつ取り合う乱打戦。見ている方は面白い展開だったはず。その後、米沢中央が3回に3点、7回にも1点追加でダメ押ししか

1回裏に興讓館が1点先制したものの、2回には両校が5点ずつ取り合う乱打戦。見ている方は面白い展開だったはず。その後、米沢中央が3回に3点、7回にも1点追加でダメ押ししか

前サヨナラ安打により勝つ

時間半の熱戦に幕を下ろしました。しかしその後、日大山形に5対3で敗れ甲子園出場の目標はかなわなかつた。



続く2回戦は、鶴岡工業高校。なかなか相手投手の外角のストレートとスライダーを捉えることができず、敗戦となりました。

しかし、9回には3番、主将の鈴木（3年）がヒットで出塁し、4番高橋（3年）がタイムリーを放つ形で得点し、何とか一矢を報いました。

このチームは、3年生が少なく、下級生が主体となつたチームでしたが、最後の最後で3年生が意地を見せてくれたように思いました。

今年の3年生も、日常生活においても「野球人」となることをを目指して行動してきました。野球以外のこととを含めて、失敗や多くの経験から様々なことを感じ、学んだ高校生活ではなかつたのかと思います。興譲館での野球を全うした彼らなら、大学進学後も、そして、社会に出てからも活躍してくれると信じております。

チーム2018

秋季地区大会

◆1次予選	対 米沢工業 0—12 (5回コ)
-------	----------------------

◆2次予選	対 置賜農業 9—5 対 米沢商業 11—10
-------	----------------------------

◆第3代表決定戦

対 高畠	6—1
置賜地区第3代表として県大会へ	

秋季県大会

◆1回戦

対 山形電波工業	1—2
----------	-----

今年の夏も、OB戦を実施して頂き、多くの先輩方にご参加頂きました。強化試合や激励を通して、先輩方の熱い思いをしっかりといただきました。本当にありがとうございました。	3年生6名が抜けて、18名となつた新チームは、昨秋に続き、県大会に出場することができました。しかし、前チームに出場していなかったメンバーが多くいたわりには、なかなか厳しいスタートでした。
--	---

した。

打倒私立を掲げて臨んだ県大会では、力のある山形電波工業高校さんに、8回裏に逆転されるという非常に悔しい敗退となってしましました。前チーム同様、練習や生活面の甘さが捨てます。できるだけ早く改善します。

この悔しさを忘れずに、臥薪嘗胆で春まで力をつけていきたいと思います。

さらに、日頃よりOB会の皆様には、各大会の応援や練習試合等に駆けつけて頂きありがとうございます。また、物心両面にわたって感謝申し上げます。今後も、ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

した。野球関係者の方々を通じて、人との繋がりのありがたさを、深く感じさせて頂いております。重ねて、御礼申し上げます。

OBの皆様や多くの方々の声援が、野球部員の大きな力となっています。改めて感謝申し上げます。今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。



現米沢興譲館高等学校校舎正面より

学年代表幹事

卒業年	氏名
S44	布川 裕行
S45	高梨 衛
S46	永井 隆
S47	遠藤 敬
S48	宇津江 信彦
S49	池内 正一
S50	千葉 和男
S51	栗林 雄二
S52	大河原 敦
S53	井上 恭男
S54	大越路 可
S55	後藤 利明
S56	山田 和男
S57	
S58	中沢 秀隆
S59	吉田 直史
S60	菅原 浩
S61	後藤 篤也
S62	井上 武司
S63	村田 和彦
H1	鈴木 雅満
H2	渡部 晃央
H3	斎藤 真徳
H4	地主 忠亮
H5	吉田 大治
H6	菊地 芳宏
H7	井上 友和
H8	
H9	遠藤 謙司
H10	加藤 法弘
H11	斎藤 慎太郎
H12	高橋 優子
H13	鈴木 宏治
H14	嘉藤 之浩
H15	佐藤 勝治
H16	戸田 恵
H17	辻 琢允
H18	淀川 竜也
H19	菅野 英志
H20	福嶋 なつみ
H21	土屋 岳
H22	井上 尚人
H23	小関 直紀
H24	神保 智貴
H25	歌丸 裕彬
H26	渡部 晃史
H27	土屋 賢
H28	小林 哲也
H29	梅津 謙吾

平成29年度米沢興譲館高等学校野球部名簿

監督:多田貞春 部長:五十嵐雄大 顧問:佐野友彦

学年	氏名	出身校	学年	氏名	出身校	学年	氏名	出身校
1 3年	鈴木 耕太朗	川西	2年	加藤 嶺雄	南原	1年	佐藤 優樹	米沢4
2 3年	山木 大輔	高畠3	2年	後藤 旭陽	米沢6	1年	武井 作斗	米沢2
3 3年	鈴木 翔太	米沢2	2年	我妻 大誠	米沢4	1年	原田 峻介	高畠
4 3年	高橋 佳介	川西	2年	小笠原 空	米沢1	1年	原州 平	米沢6
5 3年	遠藤 匠	米沢2	2年	川崎 李成	米沢2	1年	油井 陸斗	米沢1
6 3年	斎藤 妙子	高畠4	2年	高橋 春香	米沢4	1年	斎藤 創太	米沢5
7			2年	斎藤 匠	赤湯	1年	戸田 晃平	米沢5
8			2年	佐藤 豪郎	米沢3			
9			2年	鈴木 雅宏	米沢5			
10			2年	藤橋 葵	米沢1			
11			2年	村上 昂輝	米沢5			

野球部OB会役員紹介

学年代表理事会開催のご案内

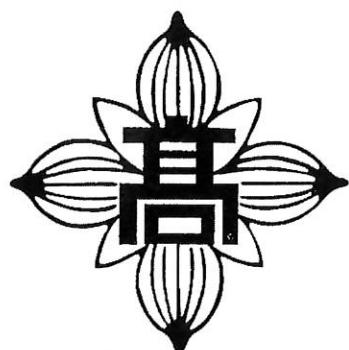
役員名	氏名	卒業年
顧問	駒形 衛	S25
顧問	高野 讓	S29
会長	小野 隆夫	S34
副会長	遠藤 敬	S47
兼事務局長	井上 恭男	S53
理事	栗林 雄二	S51
理事	荒澤 芳治	S54
理事	大越路 可	S54
兼事務局補助	我妻 弘一	S61
理事	吉田 大治	H5
理事	佐藤 勝治	H14
理事	小野 裕介	H17
監事	安達治雄	S33
監事	斎藤 隆志	S42

平成29年度 事業計画

平成30年4月中旬頃、学年代表理事会を計画しております。

OB会員各位の交流とOB会活動の活性化のために開催するものです。

多くの代表理事にご参集していただけますことを希望しております。



米沢興譲館高等学校校章

平成29年8月15日に開催された、OB戦の案内を掲載させていただきました。

今後も、同様の要項により、継続開催を企画しております。

主旨に賛同いただき、OB多数の参加をよろしくお願い致します。

平成29年度 米沢興譲館高校野球部OB戦について

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、8月15日に毎年恒例となっております興譲館高校野球部OB会総会及びOB戦が行われます。

OBの皆様におかれましてはご多忙の中かと思いますが、白球を追っていた青春時代を思い出し、世代を越えた交流ができればと考えております。

つきましては同級生、先輩、後輩お誘いあわせの上参加いただければと思います。

内容

午前：1・2年生との試合（大学生の方を中心に参加いただけすると幸いです。）

午後：OB同士の試合（1打席のみ、守備のみなどの参加も可能です。）

日 程

9:00 V S 1・2年生 プレイボール

12:30 参加者集合（チーム分け）

13:00 開会行事

1. 開会のあいさつ

2. OB会長あいさつ

3. 現役選手あいさつ（新チーム主将）

4. 記念品贈呈

13:30 始球式（OB会長）

OB戦

16:00 閉会行事（記念写真撮影）

18:15 OB会総会 於：モントビュー米沢（是非ご参加ください）



参加を希望されるOBの方は下記幹事までお電話、ハガキ、メール等を通じて①お名前②卒業年度をご連絡ください。

なお、参加料は徴収いたしませんが、毎年審判、補助役員をしてくれる母校後輩に試合球を贈呈しています。

つきましては試合球代として1人500円ご協力をいただければ幸いです。

平成29年度OB戦幹事（平成28年度より3学年周り番で担当しています）

戸田 恵（平成16年卒） 電話：080-1832-4429

メール：caucau-3and4-7@docomo.ne.jp

stodasa@pref-yamagata.ed.jp

土屋 岳（平成21年卒） 電話：080-5086-1306

渡部 晃史（平成26年卒） 電話：080-5735-1753



事務局より

平成29年度 米沢興譲館野球部OB会総会

平成29年度のOB総会は、去る8月15日(火)恒例となりましたホテルモントビューム沢で開催されました。平成28年度事業報告及び収支決算報告が行われ承認されました。役員改選後、28年度事業計画及び予算案が上程され、全て承認となりました。新役員体制の下、今後ともOB会活動が充実したものとなる様、頑張りたいと思います。年に一度の総会に、多くの会員が集えるような会となります様、事務局として運営していきたいと思います。

平成29年度 予算書

自:平成29年7月1日 至:平成30年6月30日

単位:円

一般会計

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前年度繰越金	381,598	郵貯 45,916 信金 335,682	総会費	250,000	8月15日 モントビュー米沢
維持会費	800,000	1口 5,000 160口 目標	総会準備費	160,000	総会案内 当日総会資料印刷 記念写真郵送等
卒業生入会金	21,000	H29年度 卒業生 7名	学年代表理事会	157,000	資料印刷等 懇親会費
総会会費	200,000	40名にて	激励費	40,000	激励費 20,000 OB贈呈し入金 10,000 保護者会祝金 10,000
学年代表理事会	70,000	4月中旬予定 35名にて	活動支援費	150,000	援助金
役員会	40,000	年2回の予定	会報発行費	160,000	会報印刷費 原稿依頼費用等
預金利息	2		OB連合会関係費	42,000	負担金 20,000 総会参加費 20,000 役員案内費
			特別積立金	150,000	特別会計に積立
			役員会議費	80,000	年2回の予定
			郵便為替手数料	14,000	郵便為替手数料 振替為替用紙作成料含
			事務用品雑費	29,600	封筒・印刷・コピー 用紙等事務用品
			予備費	280,000	
合計	1,512,600		合計	1,512,600	

特別会計

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前年度繰越金	1,357,383		取崩額	0	
特別積立金	150,000		次期繰越金	1,507,400	
預金利息	17				
合計	1,507,400		合計	1,507,400	①

卒業生貸付金(2口)

単位:円

H22年度卒業生			100,000	
H23年度卒業生			98,000	
合計			198,000	②
特別積立金+卒業生貸付金			次期繰越金	1,705,400 (①+②)

特別会計

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	決算額	摘要	科目	決算額	摘要
前年度繰越金	1,257,371		今期取崩額	0	
特別積立金	100,000	6月27日	次期繰越金	1,357,383	
預金利息	12	10月1日 6 4月1日 6			
合計	1,357,383		合計	1,357,383	①

卒業生貸付金(2口)

単位:円

H22年度卒業生			100,000	
H23年度卒業生			98,000	
合計			198,000	②

特別積立金+卒業生貸付金 次期繰越金 1,555,383 (①+②)

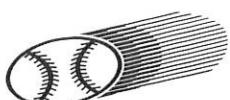
上記、収支決算について帳簿等を監査の結果、その内容は正確であり適正であったことを認めます。

平成29年7月11日

監事 安達沼水



監事 斎藤隆志



Baseball

県内各地でOB会員の方々が野球指導にたずさわっておられます。

米沢興譲館野球部OB会員 野球部関係者 (平成29年11月25日現在)

卒業年	氏名	赴任校
S46	高橋憲治	工学院大学附属高校
S49	池内正一	山形工業高校
S52	船山仁	埼玉県立春日部工業高校
S58.3	武田伸彦	飯豊中
H5.3	木戸拡	新庄市立萩野学園
H5.3	吉田大治	東桜学館高校
H9.3	安達心	沖郷中
H9.3	遠藤謙司	長井高校
H12.3	丸山信輔	高畠高校
H12.3	吉川和宏	高畠中
H14.3	石黒修平	米沢五中
H15.3	佐藤勝治	米沢東高校
H16.3	遠藤彰秀	東京都昭島市立瑞雲中
H16.3	戸田怜	東桜学館高校
H20.3	坂川拓磨	米沢二中
H21.3	土屋岳	米沢商業高校
H22.3	富水研大	宮内中
H22.3	安部慎也	米沢三中

現在 情報収集中です。

情報があれば、事務局 井上 恭男まで

メールアドレス yasuo830@beige.plala.or.jp

平成29年度 OB会会費納入者

(平成29年6月30日現在) (50音順)

5,000円	10,000円	30,000円
小関豊一	小林健也	袖山修
小関優子	近野洋一	渡辺孝一
後藤篤也	齋藤敬二	20,000円
後藤彰三	佐藤勝治	太田浩
後藤利明	佐藤広吉	木村尚武
小林徳勇	佐藤茂	栗林雄二
齋藤勇	佐藤啓明	駒形衛
斎藤隆志	嶋貫仁一	我妻弘一
齋藤良一	菅原浩	15,000円
酒井功	鈴木桂樹	小野隆夫
佐久間章夫	鈴木四朗	門倉裕貴
佐藤隼平	鈴木利実	菅野武巳
佐藤祐	鈴木雅満	高野譲
島貫昌博	高橋憲治	10,000円
鈴木亨	高橋勉	安達治雄
鈴木渉	高橋昌義	五十嵐俊隆
添川清貴	高山忠	伊藤良久
園田直子	武田忠一	井上武司
田中久雄	原田徹	井上寛
中沢秀隆	古川愛一郎	井上恭男
長谷川大典	村山晃	遠藤敬
廣居忠彦	山川広治	大越路可
布川裕行	吉田大治	大武清夫
船山遼一	5,000円	大場善次郎
古山陽佑	池村義人	尾形精一
山田和男	伊藤亮平	小野修
山村寿雄	今井文雄	小川洋
山村嘉弘	梅沢和男	嘉藤之浩
吉川和宏	江川栄助	川野部雄二
	遠藤俊弥	岸純央
	小野裕介	小野啓一

今年度の維持会費の納入については、ご承知の通り、平成29年度予算の維持会費予定納入額を大幅に下回っています。

一口 五、〇〇〇円
●編集後記●

おかげさまで、今年度も会報を予定通り会員皆様にお送りすることができます。

会報発刊にあたり一番の悩みは、各世代の会員様からの寄稿原稿のお願いになります。

この度も貴重なご寄稿をいただいた会員各位には深く感謝致すところではあります。が、編集担当としてはもつと多くの寄稿をいただきたいと考えています。何卒ご理解の上よろしくお願い致します。

事業報告として、8月15日に実行委員の方々の協力の下、OB戦を開催することができ、その折の模様もこの会報で今年

度もご紹介できましたことうれしく思います。来年も同様の要項で催したいと考えておりますので、奮って参加していただき、併せて、総会で旧交を温め合っていただきたいたいと思います。

また、米沢興譲館同窓会ホームページにて、野球部に関わる情報を発信し、広くアピールして行きたいとも考えておりままでの、ご意見等ございましたらご連絡ください。

になっておりますが、是非とも多数口でのご協力を是非お願いしたいと思います。



事務局
〒992-10054
米沢市城西4-4-16
井上恭男 16